

既設多核種除去設備 吸着塔14A出口弁から堰内への滴下事象について

2017年1月26日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

概要及び時系列

TEPCO

■概要

- 既設多核種除去設備A系吸着塔14Aの出口弁（F431A）のグランド部からの滴下および下部の漏えい水受けパン内に溜り水を確認。
- グランド部の増締めにより滴下は停止。
- なお、事象確認時、多核種除去設備は循環待機中（処理を行っていない状態）であった。

■時系列

【1/11】

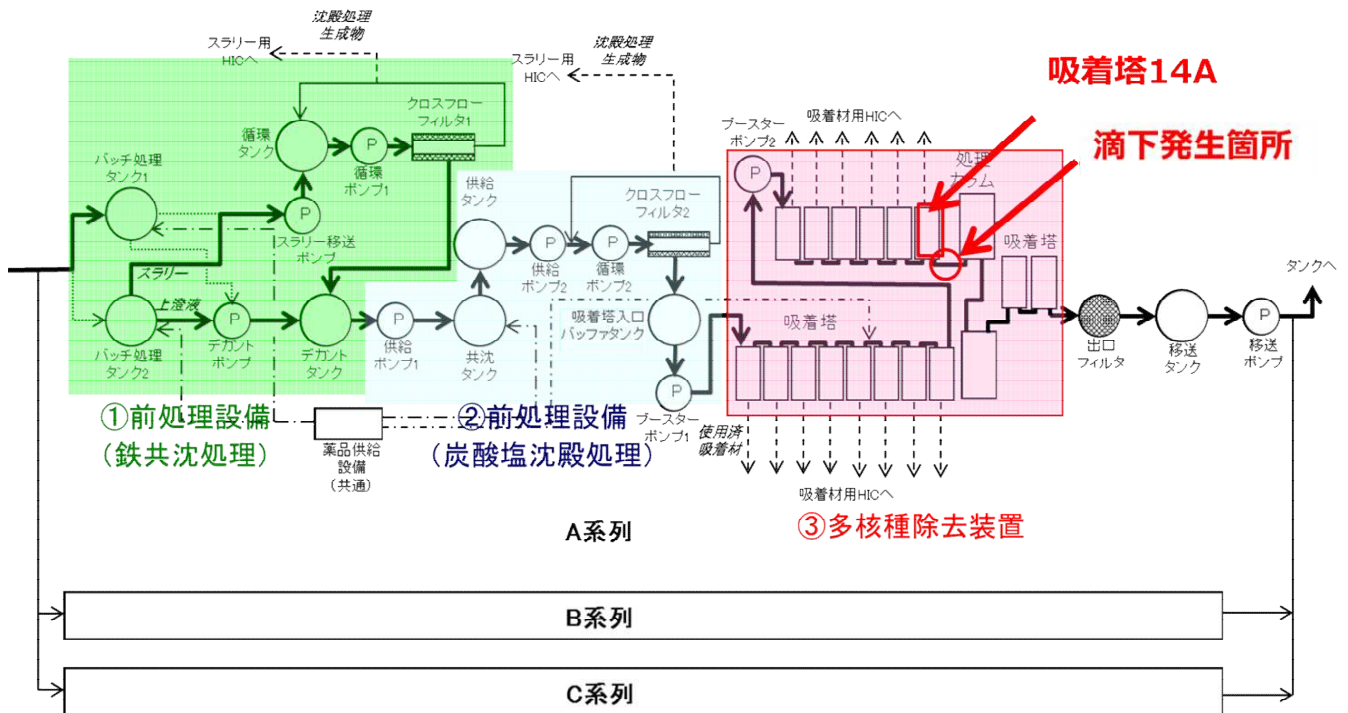
- 19:00頃 既設多核種除去設備建屋内において、A系吸着塔14Aの出口弁（F431A）のグランド部より5分に1滴程度の滴下があること、および溜り水（約15cm×15cm）を協力企業作業員が確認。
- 19:45頃 運転員により当該弁のグランド部の増締めを行い、滴下が停止したことを確認。滴下した水の拭取りを実施し、念のためビニール養生を実施。

なお、1/12にも当該箇所から滴下がないことを確認

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

■ 滴下発生箇所



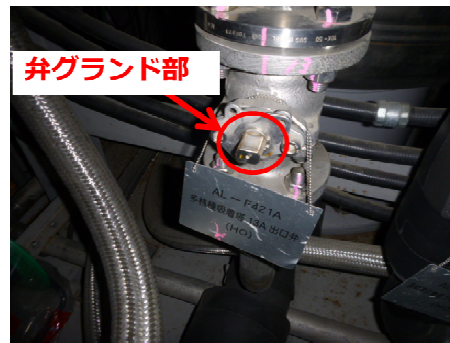
滴下箇所の状況及び今後の対応

■ 滴下箇所の状況

- A系吸着塔14A出口弁（F431A）のグランド部より5分に1滴程度の滴下及び下部の漏えい水受けパン内に溜り水を確認
- グランド増し締めを実施し、滴下が止まったことを確認。念のため袋養生を実施。



滴下発生箇所（袋養生実施後）



弁グランド部

参考) グランド部の様子
同型弁(吸着塔13A出口弁)の状況

■ 今後の対応

- 既設多核種除去設備のその他の弁について、グランドの締め付け状況（緩み具合）を確認し、対策を検討・実施していく